

多文化共生事業事例集

年度

R5

団体名

朝来市

助成金名：多文化共生のまちづくり促進事業

事業費総額 1,700 千円

事業名

在住外国人を対象とした朝来市生活支援ガイドの作成事業

概要

平成 23 年に在住外国人を対象にした生活支援ガイドを作成し対象者に配布していたが、一部の内容に更新が必要なため、刷新し、内容を更に充実し、外国人の生活に必要な情報を HP に掲載した。

また、作成した生活支援ガイドを活用し、生活オリエンテーションを開催した。

事業のポイント

朝来市においても在住外国人が増えつつある中で、朝来市生活支援ガイドを刷新し、外国人の方に生活に必要な情報を多言語で提供することにより、外国人も安心・安全な生活を送ることができるよう多文化共生における地域づくりを推進する。

事業の背景・目的

平成 23 年に「外国人市民のための朝来市生活ガイド緊急時対応マニュアル」を作成し、市在住外国人に配布していた。しかし、内容の更新が必要となったことと、在住外国人の方から 10 頁のマニュアルでは情報が不十分でもっと詳しい内容を知りたいとの御意見があった。

また、市在住外国人の人口を見てみると、過去約 10 年の間に 2 倍以上増加し、年々さらに増加し続けていること、国籍別では中国、ブラジル、フィリピン籍の順であったものが、現在はベトナム、中国、フィリピン籍の順となっており、市内在住外国人の分布が変化していることから、以前に作成した生活ガイドでは対応できていない状況となっている。

事業の詳細

朝来市在住外国人及び関係団体の意見を反映した生活支援ガイドを作成し、ベトナム語、フィリピン語、中国語、英語の 4 か国語に翻訳し、やさしい日本語と併せた多言語対応のサブサイトを市のホームページに掲載した。

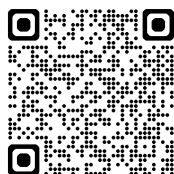
また、作成した生活支援ガイドを活用し、あさご日本語教室で在住外国人に向けたオリエンテーションを開催した。

・スケジュール

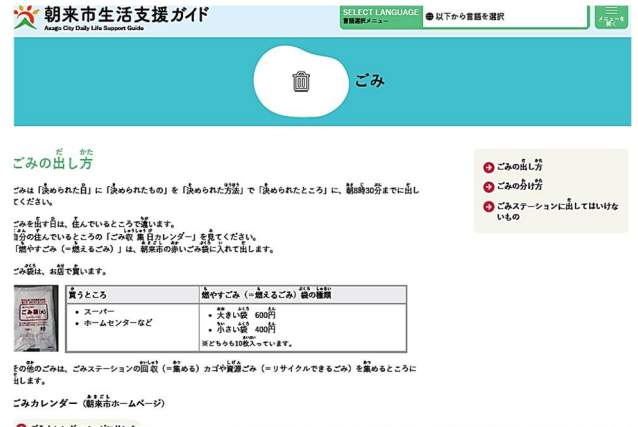
5-10 月	生活支援ガイド案の検討 ・地域日本語教育コーディネーター等と掲載内容検討 ・庁内各課へ内容照会
10 月	生活支援ガイド原稿作成
11-12 月	翻訳・サイト作成業者の選定・入札・契約
2 月	「朝来市生活支援ガイド」ホームページ掲載用サイト・データ完成 生活オリエンテーションの開催（日本語教室 2 箇所）

・詳細

- 生活支援ガイド案について、日本語教室に通っている在住外国人・地域のボランティア支援者に意見を聴取し、地域日本語教育コーディネーター等に内容を検討いただき、翻訳原稿案を作成した。
- 原稿案を庁内各課に照会し、翻訳原稿を確定した。
- 翻訳・サイト作成業者について選定・入札・契約をした。
- 支援ガイドのやさしい日本語版について、日本語教室の在住外国人及び地域日本語教育コーディネーターの意見を反映し、よりわかりやすいものを作成した。
- 支援ガイドを 4 か国語（ベトナム語、英語、フィリピン語、中国語）に翻訳し、やさしい日本語と共にホームページで項目毎に閲覧できるようなサブサイトを作成した。
- あさご日本語教室（山東教室・朝来教室）に通っている在住外国人に向けた生活オリエンテーションを開催した。



←朝来市生活支援ガイド QR コード
Asago City Daily Life Support Guide



事業実施における工夫点・事業の成果等

- 朝来市生活支援ガイドの成果品
 - ・生活支援ガイドを翻訳
(ベトナム語、英語、フィリピン語、中国語)、市ホームページに掲載用・多言語対応サイト作成
- 事業協力者
 - ・市在住外国人 2名
 - ・日本語教室ボランティア支援者2名
 - ・地域日本語教育コーディネーター
 - ・・・・にほんごぶらす代表河本美代子氏に依頼。

- あさご日本語教室オリエンテーションの実施
 - ・2/27 山東教室（在住外国人：9人、支援者：9人）
 - ・2/28 朝来教室（在住外国人：8人、支援者：8人）



今後の課題・将来に向けての展望等

今年度は予算の都合上、やさしい日本語とベトナム語、英語、フィリピの語、中国語の翻訳を掲載したが、英語圏でないインドネシア、ミャンマーの方々が増えているため、今後、翻訳する言語を増やしていきたいと考えている。

また、支援ガイドの周知について、当初、別途A4サイズのチラシを外国籍の世帯に配布する予定であったが、予算の関係上、チラシの配付が難しくなったため、携帯可能な名刺サイズの周知カードを窓口に設置し、転入の際にお持ち帰りいただいている。在住の方には、企業や広報紙等を通じてできるだけ周知していきたいと考えている。

恒常的に活用するためには、事業内容等の変更に伴い修正が必要となるため、その都度の予算の確保が課題である。



事業担当者のふりかえり

オリエンテーションに参加した方からは、スマートフォンから二次元コードを読みこんで、生活支援ガイドを見て、探したい内容がすぐに検索でき、分かりやすいと好評いただいた。最初は PDF での掲載を考えていたが、今回のように検索して知りたい項目だけを見ることができ、相談先等のリンクにもクリックで飛べるようになったことで、在住外国人の方の利便性の向上につながったと思う。